

2024年3月4日

遺伝子組換えダイズの栽培試験を終了しました。

2023年7月13日に承認を得た*「除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（承認番号23-46P-0006）」の栽培試験を、第一種使用規程に基づき、筑波大学 T-PIRC の隔離ほ場（模擬的環境試験圃場 V）で開始した栽培試験は、3月4日にすべての栽培試験を終了しました。

実験内容：遺伝子組換えダイズと非遺伝子組換えダイズの生育特性と成熟後期の低温下での越冬性を調査する。

材料：除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（OECD UI:DBN-09004-6）と宿主である非遺伝子組換えダイズ（品種：Jack）

栽培方法：2023年7月14日、隔離ほ場内に種子を播種した。試験区は、株間20cm、畝間65cm、1畝2m長の列を4列で1プロットとし、遺伝子組換えダイズ4プロットと非遺伝子組換えダイズ4プロットを交互に配置し、計8プロットを生育特性区として配置した。また、越冬性調査区として、遺伝子組換えダイズ2列、非遺伝子組換えダイズ2列の計4列の1プロットを設けた。

8月中旬から9月中旬の間に開花期を迎えて10月25日に収穫を行い、また、成熟後期の低温下での越冬性調査、土壤微生物相への影響、後作および組換え植物残渣をすき込んだ土壌における他植物の生育への影響評価試験、組換え植物の後代の交雑性の評価を行う試験のすべてを2024年3月4日に終了し、全ての栽培試験が終了いたしました。



写真 栽培終了後の圃場の様子

* 農林水産省 HP より https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/attach/pdf/seibutsu_tayousei-14.pdf